

北関東医療
相談会
過去3年間
と今期の課
題

	2018年	2019年	2020年	2021年 (4月～9月)
年度末仮放免者数(人)	2,501	2,216	3,013	-
健康診断会	5回	6回	1回	1回
個別医療支援件数	47	44	48	56
主たる病気	1. 腰痛 2. 心臓・血管 3. うつ病 4. 泌尿器 5. 糖尿病	1. 糖尿病 2. 妊娠・出産 3. 精神・疾患	1. 癌: 大腸がん、子宮がん、卵巣癌他 2. 外科的: 膝痛他 3. 妊娠・出産 3. 心臓・血管	1. 癌: 卵巣癌、悪性黒色腫、肝臓癌 2. アルコール性肝炎 3. 糖尿病、鬱病
医療費	1,129 千円	2,755 千円	5,311 千円	5,251 千円
内容		尿管結石→無料低額診療	大腸がん→無料低額診療	卵巣癌 1,586,322 円 アルコール性肝炎 1,504,386 円 胆嚢結石 無料低額診療で対応
生活支援	280 千円	326 千円	2,465 千円	1,464,千円
コロナ家賃	-	-	1,658 千円	2,002 千円
郵送費	-	15 千円	2,276 千円	1,082 千円
旅費交通費	823 千円	2,880 千円	2,028 千円	801 千円
合計	2,232 千円	5,976 千円	13,738 千円	10,600 千円

北関東医療
相談会
過去3年間
と今期の課
題

	2018年	2019年	2020年	2021年
病気の名前と特長	<ul style="list-style-type: none"> ① 乳がん(社会保険取得) ② うつ病(精神の自立支援取得)2名 ③ 慢性腎炎(社会保険取得) ④ 乳がんの手術検査費用 	<ul style="list-style-type: none"> ① 糖尿病 ② 妊娠出産 ベトナム人、カンボジア人、ミャンマー人 ③ 潰瘍性大腸炎 	<ul style="list-style-type: none"> ① がん(大腸がん、すい臓がん2件、肺がん、乳がん、腎臓がん→肺移転、乳がん→肝臓、骨、脳) ② 尾てい骨挫傷、脊柱管狭窄症、 ③ 妊娠、出産 ④ 肝炎2名 ⑤ 結核、非結核性抗酸菌症 	<ul style="list-style-type: none"> ① 卵巣癌 ② アルコール性肝炎 ③ 胆嚢結石 ③ 脊柱管狭窄症支援 ④ 尿管結石 保険無し
社会資源の活用	<p>協会けんぽの活用 慢性腎炎及び乳がん 生活保護：細菌性皮膚炎・肝機能障害、定住者の支援 精神病の自立支援：ミオクローヌてんかん、うつ病</p>	<p>協会けんぽが使えなくなった。 妊娠出産が特に多かった。入院助産を使い支援する5人</p>	<p>精神自立支援のみが使用可 無料低額診療の病院が断り始めた * 在留特別許可申請(大腸がん男性、肺がん男性) * 潰瘍性大腸炎難病認定</p>	<p>* 在留特別許可 卵巣癌女性</p>

北関東医療
相談会
過去3年間
と今期の課
題

事例1 2017年12月初旬 非正規滞在者 女性
群馬県T市、O市の彼女の部屋に入るとひどい褥瘡の臭いとやせ細った人間がベッドで寝ていた。その日は動かすことをあきらめ、翌朝T市の無料低額診療の病院に連絡をして引き取ってもらった。病院は肝不全ということで、近くの大きな病院いに入れたが治療ができないとのこと結局、「ここはホテルではない」と言われ泣く泣く深夜2時にO市に帰宅し、翌朝に再度当初の病院に連絡し救急車で運んでもらい2週間後に亡くなった。

事例2 2018年6月中旬 非正規滞在者 女性
群馬県O町、息子は定住者、協会けんぽ加入、母親は非正規滞在者で腎臓透析をしなければならないがお金も無く保険も無い。住所が息子の所になっていたので入管からの手紙によって住所を特定させ協会けんぽに扶養として入る事ができた。腎臓透析は一か月分を当会が賄い以降協会けんぽの扶養として治療を受ける。その後協会けんぽは在留資格が無いことを理由に入れなくなった。
現在は不明

事例3 2021年 仮放免者 女性
神奈川県A市、乳がんで神奈川県の大学病院で治療を受ける概ね600万円ほどかかったが治らない、病院は出来ることはすべてしたとして一人で生活をする事を告げた。帰宅後、家賃滞納で入る事ができず支援要請があったので、修道院に依頼し、その後無料低額診療の病院も見つかり、在留特別許可を申請した。在留カードが届いたのは彼女の死後3時間後であった。